

学校の教育目標: やさしく、かしこく、たくましく 夢の実現へ成長する子どもの育成

学校の教育目標 実現のための 喫緊の課題を 踏まえた 重点目標	重点目標に係る 目指すべき子どもの 姿となる 達成指標	達成指標を達成する または近づくための 重点的取組 ※到達像不要	重点的取組に係る 具体的な 取組指標 ※誰が、何を、どれくらいの頻度で	担当	検証・改善				
					取組指標に対する 取組状況の確認		達成指標に対する 達成状況の確認		改善方策
					SAB 評価	取組状況(エビデンス)	SAB 評価	達成状況(エビデンス)	
豊かな心の育成 やさしく	○「進んで誰にでも気持ちのよい挨拶ができた」と答える1～4年生が90%以上、5～9年生が85%以上にする。 ○「学校が楽しい」と答える1～4年生が90%以上、5～9年生が85%以上にする。	学校 ○あいさつの徹底、規範意識を育成する。 ○「居場所」と「絆」づくりの取組を行う。 ○小中一貫教育の推進に努める。	○毎日、帰りの会で挨拶について振り返りを行う。	やさしいプロジェクトリーダー					
			○週1回以上、生徒指導の3機能を意識した授業を行う。						
			○毎月(計画的)の児童生徒会活動、行事等の縦割り班活動の取組を行う。						
		家庭 ○「生活5原則中(あいさつ、整理整頓、時間厳守)」の習慣をつける。	○毎日、肯定的な声かけ、きもちのよい挨拶を行う。						
地域 ○挨拶から、地域の一員であるという意識を育てる。	○登下校で会った時に、声かけや挨拶をする。								
確かな学力の育成 かしこく	○単元テスト(国、算、理)で1～6年生は、80点以上を75%、60点未満を10%以下にする。定期テストで7～9年生は、70点以上を60%、50点未満を10%以下にする。 ○「授業が楽しい、よくわかる」と答える1～6年生が80%以上、7～9年生が70%以上にする。	学校 ○新大分スタンダードを意識した授業を実施する。 ○「チャレンジ学習」等の実施により、学習の定着を図る。	○日常授業で、板書に「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を位置付ける。	かしこいプロジェクトリーダー					
			○単元に1回以上、ペア・グループ学習等の「対話的で深い学び」を位置付けた授業を行う。						
		家庭 ○「学習5原則中(忘れ物ゼロ、きちんと家庭学習)」の習慣をつける。	○小テストを単元に1回以上設定し、やり直しをていねいに行う。						
		地域 ○授業参観、ボランティアとして協力する。	○授業公開日や学校の要請により、ボランティア等として授業に入る。						
健やかな体の育成 たくましく	○「運動が好き」と答える1～4年生が85%以上、5～9年生が80%以上にする。 ○「朝食を毎日しっかり食べる」と答える1～9年生が90%以上にする。	学校 ○一校一実践による体カアップを図る。 ○生活習慣の改善と意識の高揚を図る。	○体育の授業で、全部位を意識した「賀来っ子体操」(ストレッチ)を行う。	たくましいプロジェクトリーダー					
			○月1回以上、「スポーツチャレンジ(縄跳び等)」を実施する。						
		家庭 ○朝食をしっかりと食べさせることから、生活習慣を改善する。	○毎日、早寝、早起き、朝食のことを話題にする。						
		地域 ○自力登校する子どもを応援する。	○月1回以上、学校「保健(養教)、食育(学業)」・学年通信等を活用して、保護者の啓発を行う。 ○育友会(保険体育部)の運動を実行する。 ○自力登校の子どもをしっかり励ます。						